

移住風景

令和4年度【第8号】
2022年11月1日発行
八頭町役場商工観光室
(0858-72-0144)



Instagram
yazu_life
更新中

—八頭町地域おこし協力隊活動の現場から—



帰るギリギリまで遊び続けるカワイイ姉弟ちゃん

私、将来鳥取に住みたい！

最近、動画制作を頼まれることも多く、これまでに撮った八頭の風景を見返していると、自然の美しさに改めて気づかされます。八東ふるさとの森もその一つ。

先日、大阪から二十年來の友人が家族4人で八頭に來てくれ、ふるさとの森に宿泊しました。ブナ林散策、ヤマメの掴み取り、夜の焚火。8歳のお姉ちゃんとう5歳の弟くんは、心から楽しんでくれたようです。

翌日、帰りたくないとお親に交渉するお姉ちゃん。しぶしぶ帰阪を承諾した彼女の捨て台詞が、表題の一言でした。

「将来鳥取に住みたい！」
小さな子の一言とはいえ、これほど嬉しい言葉はありません。

将来、本当に選んでもらえるようにしとかなきゃ！

中村聡志

八頭町に来てやってみたこと

秋風が寒く感じられるようになりました。私はこの時期は柿色の夕焼けが好きです。

私の協力隊としての名刺には自転車の絵が載せてあります。それには少なからず意味がありまして、実は自転車を持って八頭町に移住してきたのです。しかしまだ一度も町内を走った事がありません。

先日、観光協会のレンタサイクルで走る機会がありました。今回走ったコースは郡家の川沿いや汽車が見える風景、白兔神社などのおすすめコースでした。



↑写真(上)
川沿いサイクリング
写真(右) →
インタースクールの会場



こんなに気持ち良いなら家に眠っている自転車をもつと使えば良かったと思っただけでした。ですが我が家から自転車となると地形的にかなりハードにはなるので覚悟が必要です。

もう一つ、狩猟のための初心者ハンタースクールに参加しています。基礎を学んで今後の活動に活かしたいです。これからも新しい事に挑戦してみたいと思っています。

栗岡綾子

今月のジビエ開発

9月はジビエ商品開発の試作として鹿のローストを作ってみました。ローストビーフの鹿肉バージョンです。

鹿肉は脂が少なく筋肉質なので、普通に焼くと硬くなりがち。低温でじっくり時間をかけて火を入れていくと柔らかく食べやすくなるとのことなので、鹿肉のローストを作ってみることにしました。表面を焼いて真空パックに入れ、低温の湯煎で3時間ほど火入れます。低温調理器を使ったので上手に出来上がりました。薄くスライスしてオニオンスライスやレタスなどをはさんでローストサンドにして試食、それなりに美味しいのですがまだ何か足りないので引き続き試作を重ねたいと思います。

高山潤哲



鹿肉のローストサンド

山の白兔伝説講演会

八頭町に伝わる「白兔伝説」を研究されている郷土歴史研究会会長 新誠さんの講演会を開催しました。令和5年兔年に向け、長年の研究結果をまとめ出版した本の内容を中心にお話をいただいたのですが、講演会には町内外から多くの方が集まり、なぜここ八頭に白兔神社があるのかを紐解いて行くという大変興味深いお話に耳を傾けました。

私が参加している八頭町有志による団体「やずうさぎプロジェクト」では、来年の

兔年に向け様々な活動を行っており、来年3月には考古学の専門家を招いて町内でシンポジウムを開催する予定です。今回の講演会同様ご興味のある方はぜひご参加いただければ嬉しいです。

高野実咲



ふらっとぴあで開催された講演会

郷愁に浸る夏休み

着任してから目まぐるしく忙しい毎日を過ごしておりましたが、9月に入り夏休みを頂き、久しぶりに故郷の神奈川県に帰省しました。

私が住んでいた街では丹沢大山で捕れたジビエと温

泉を軸に、街づくりを行っていただきます。八頭町で皆さんが日々実践されている取組に影響を受け、当時あまり意識しなかった故郷の取組が新鮮に映り、多くの気づきを得る滞在となりました。タニシを捕って遊んでいた川が遊べなくなり、駅前に大きな建物が建設され、子どもながらにとても悲しかった思い出も蘇りました。気づかないうちに八頭町に住む方々の愛郷心に影響を受けていた事に気づき、我が故郷への愛情もより深まった夏休みでした。

真柳加奈子

3年ぶりの第75回秦野たばこ祭り



○担当課より

・毎月一回、協力隊員と意見交換する定例会のなかで、活動が思うように進まないなど悩みを聞くこともあります。やはり地域の方々のご協力が必要と感じています。これからもよろしく願います。(安住)

○協力隊からのお知らせ

・インスタグラム【yazu_life】で八頭の魅力を発信しています！(表紙QRコード)。

八頭町役場ホームページからカラーでご覧いただけます。